

3 柏商圈（商業中心都市）

(1) 商圈の概要

表Ⅳ－３－１ 柏商圈

商圈 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界			
	市町村		商圈人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圈人口 (人)	吸引人口 (人)
		市町村 吸引率				市町村 吸引率		
第1次 (30%以上)	計	3 70.5%	535,413	377,413	計	2 71.1%	539,039	383,150
	旧・柏市	90.6%	333,003	301,701	柏市	87.0%	384,420	334,445
	旧・沼南町	59.1%	47,791	28,244	流山市	31.5%	154,619	48,705
	流山市	30.7%	154,619	47,468				
第2次 (10～30%未満)	計	2 17.2%	255,599	43,895	計	2 16.7%	283,765	47,511
	旧・野田市	11.4%	123,845	14,118	野田市	10.8%	152,011	16,417
	我孫子市	22.6%	131,754	29,776	我孫子市	23.6%	131,754	31,094
第3次 (5～10%未満)	計	3 5.9%	565,747	33,098	計	2 6.2%	535,040	32,926
	印西市	5.0%	60,106	3,005	印西市	5.0%	60,106	3,005
	松戸市	6.0%	474,934	28,496	松戸市	6.3%	474,934	29,921
	旧・関宿町	5.2%	30,707	1,597				
合 計	8	33.5%	1,356,759	454,406	6	34.1%	1,357,844	463,588

注1) 吸引率=吸引人口÷商圈人口×100

注2) 各商圈内の最上段吸引率は圈内加重平均(圈内吸引人口計÷圈内商圈人口計×100)

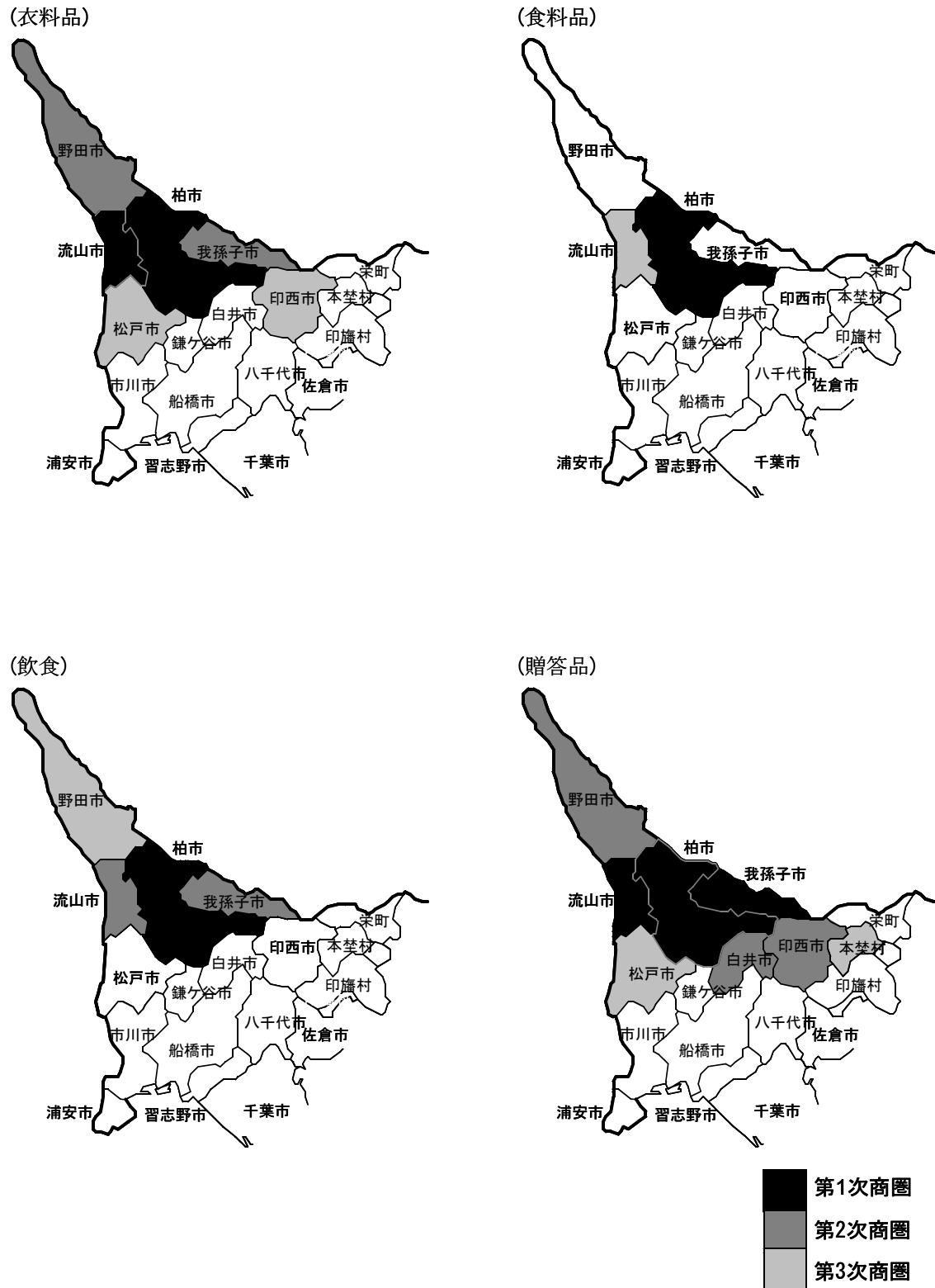
注3) 市町村・商圈人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○柏商圈は東葛ブロックと印旛ブロックの西部を中心に 6 市から形成され、商圈人口は約 136 万人(柏市人口の約 3.5 倍)、商圈からの吸引人口は約 46 万人(同約 121%)、商圈内吸引率は 34.1%となっている。

○第 1 次商圈は 2 市で吸引率の平均は 71.1%、第 2 次商圈は 2 市で吸引率の平均は 16.7%、第 3 次商圈は 2 市で吸引率の平均は 6.2%となっている。

図Ⅳ-3-1 柏商圈（衣料品・食料品・飲食・贈答品）



(2) 旧市町村区界（旧・柏市）での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は前回と同様に2市1町となっている。
- ・第2次商圏は1市であったが、1市が第3次商圏から入ったため、1増して2市となった。
- ・第3次商圏は4市であったが、1市が圏外に出て、1市が第2次商圏に移動したものの新たに1町が入ったので、1減して2市1町となった。
- ・商圏全体では、7市1町であったものが、数は変わらないが6市2町となった。

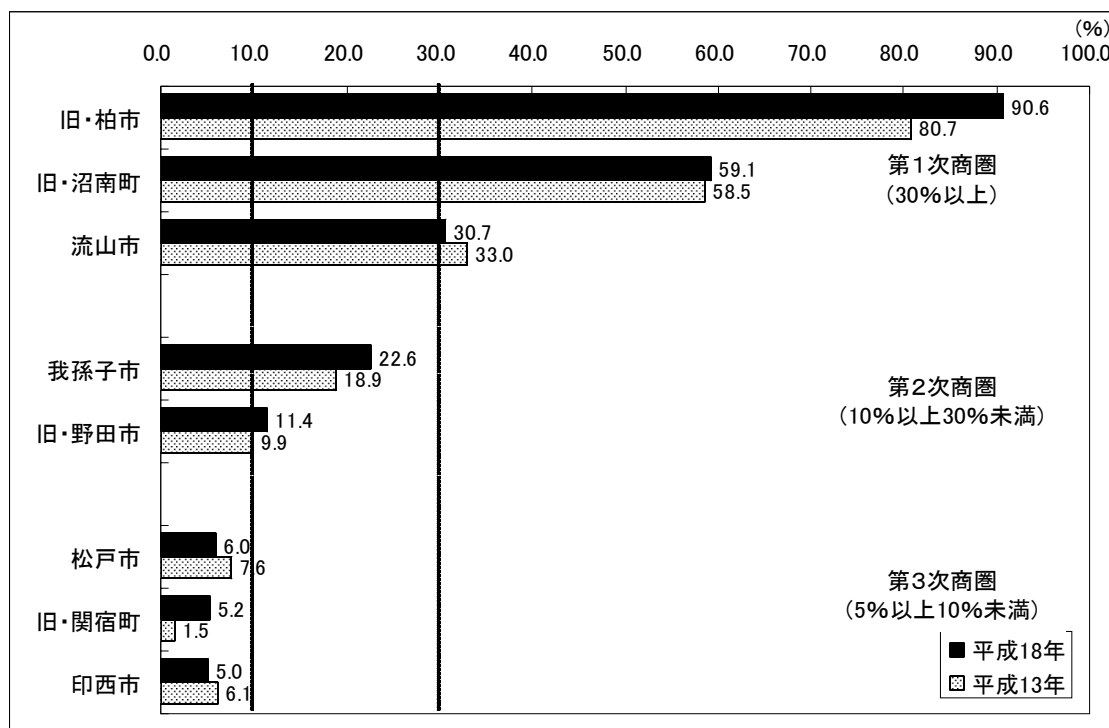
○商圏人口：前回調査時（1,353,746人）から増加して1,356,759人となった。（前回比＋0.2%）

○商圏内吸引率：前回調査時（31.1%）から上昇して33.5%となった。（前回比＋2ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したことから、前回調査時（421,241人）から増加して454,406人となった。（前回比＋7.9%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（128.1%）から上昇して136.5%となった。（前回比＋8ポイント）

図Ⅳ－3－2 旧・柏市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では2市1町であるが、1市（柏市）1町が合併により1市となったため、1減して2市となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では2市であり、そのうちの1市が第3次商圏の1町と合併したが第2次商圏にとどまっていることから変化はない。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では2市1町であるが、1町が第2次商圏の1市と合併して第2次商圏に移動したため、1減して2市となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では8市町（6市2町）であるが、新市町村区界では2減して6市となった。前回調査時の8市町（7市1町）との比較でも2減となった。

↓

（現市町村区界での商圏の前回調査との比較）

○商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（1,353,746人）から増加して1,357,844人となった。（前回比＋0.3%）

○商圏内吸引率：前回（31.1%）から上昇して34.1%となった。（前回比＋3ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したことから、前回（421,241人）から増えて463,588人となった。（前回比＋10.1%）

○吸引力：吸引人口は増えたが自市人口が合併により増加（＋16.9%）したため、前回（128.1%）から低下して120.6%となった。（前回比▲7ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における柏商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－1－2に示す。

表Ⅳ－3－2 柏商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 （基準吸引率）	平成13年（旧・柏市）		平成18年（旧・市町村区界）			平成18年（現・市町村区界）	
	市町村		市町村			市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動		平成13年 からの 変化
第1次 （30%以上）	計	3	計	3		計	2
	旧・柏市		旧・柏市			柏市	☆
	流山市		旧・沼南町		○（柏市）	流山市	
	旧・沼南町		流山市				
第2次 （10～30%未満）	計	1	計	2		計	2
	我孫子市		※ 旧・野田市	第3次から	○（野田市）	※ 野田市	☆
			我孫子市			我孫子市	
第3次 （5～10%未満）	計	4	計	3		計	2
	印西市		印西市			印西市	
	※ 白井市	圏外へ	松戸市			松戸市	
	松戸市		※ 旧・関宿町	新規	○（野田市）		
	※ 旧・野田市	第2次へ					
合 計		8		8			6

※印は変化（商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏）のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内でも商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における柏商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－３に示す。

表Ⅳ－３－３ 柏商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)		平成13年(旧・柏市) 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計	1	計	1
			旧・柏市 ○(柏市)		柏市 ☆
	第2次 (10～30%未満)	計	1	計	0
		※	旧・沼南町 ○(柏市)		
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	1
合 計			流山市		流山市
			3		2
飲食	第1次 (30%以上)	計	2	計	1
			旧・柏市 ○(柏市)		柏市 ☆
			旧・沼南町 ○(柏市)		
	第2次 (10～30%未満)	計	2	計	2
			流山市		流山市
贈答品			我孫子市		我孫子市
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	1
			旧・野田市 ○(野田市)		野田市 ☆
	合 計		5		4
贈答品	第1次 (30%以上)	計	5	計	3
		※	旧・野田市 △(野田市)		柏市 ☆
			旧・柏市 ○(柏市)		流山市
			流山市		我孫子市
			我孫子市		
贈答品	第2次 (10～30%未満)	計	3	計	3
			印西市		印西市
			白井市		白井市
		※	松戸市 第3次へ	※	野田市 ☆
	第3次 (5～10%未満)	計	2	計	2
贈答品			本埜村		本埜村
	合 計	※	栄町 圏外へ	※	松戸市 第2次から
			10		8

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市